

- . Alan Hajek 教授後援会のお知らせ
- . 編集委員会からのお知らせ
- . 大会実行委員会からのお知らせ

## I. Alan Hajek 教授後援会のお知らせ

日本科学哲学会会長 野本和幸

下記の通り、Alan Hajek 教授(オーストラリア国立大学)の講演会を開催いたします。会員の皆様には奮ってご出席下さいますようお願い申し上げます。なお、現在、日程のみが決定しており、時間、場所については決まり次第本学会のホームページ上でお知らせいたします。また演題も仮題ですが、ご参考までに掲げておきます。やはり後日ホームページ上でご確認下さい。

日程：2006年4月14日(金)

演題：ALL VALUES GREAT AND SMALL (仮題)

Hajek 氏は1962年生まれで、David Lewis やBas van Fraassen の下で研究されました。条件文、ベイズ主義、パスカルの賭け、などの主題が専門で、ルイスの「トリヴィアリティ結果」についての論文は有名です。この分野を代表する若手研究者です。

## II. 編集委員会からのお知らせ

編集委員長 佐藤徹郎

### 1. 『科学哲学』39巻2号(2006年12月発行予定)の特集テーマについて

『科学哲学』39巻2号の特集テーマを「相対性理論100年」とし、このテーマにふさわしい内容の論文を募集いたします。会員の皆さまには、奮ってご応募ください。

- \* 締め切り期日：2006年7月11日(事務局必着)
- \* 『科学哲学』38巻2号掲載の「論文応募要領」を参照の上ご投稿ください。

### 2. 自由応募論文について

「論文応募要領」3にある通り、論文本体(これはレフェリーに転送されることになります)には論文タイトル(日本語と英語)と英文要旨のみを付けることとし、著者氏名と所属については、別に添付した表紙に記して下さるようお願い申し上げます。



1. 大会の日程について

日本科学哲学会第39回大会は、下記の要領で開催いたします。

期日：2006年10月21日(土)・22日(日)

場所：北海道大学・札幌キャンパス

- \* シンポジウムのテーマについて、ご意見・ご希望がございましたら、3月24日までに事務局宛ご連絡ください
- \* ワークショップについての具体的な企画、あるいはテーマについてのご希望がございましたら、3月24日までに事務局宛ご連絡ください。
- \* 以上の二点につき、期日が迫っており大変申し訳ございません。企画の詳細が未だ定まっていない場合も、実行委員会で検討材料とさせていただきますので、事務局までご一報下さるようお願いいたします。
- \* 研究発表の申し込み締め切り期日は、8月25日(金)の予定です。なお、今年度から「発表要旨」は電子データ(eメール上での添付ファイル、またはフロッピーディスクデータの形式は、wordファイル、テキストファイルなど事務局で処理可能なもの)でお申込まれることとなります(題名、応募者の氏名、所属等は、従来どおり正確に提示していただく必要があります)。本学会ホームページにて、7月頃から書式を公開する予定ですので、メールでのご応募の場合、それをご参照いただきますようお願いいたします。この件については、新年度のニューズレターで改めて詳細いたします。

〒192-0397 東京都立大学人文学部哲学科内  
日本科学哲学会事務局

fax. 0426-77-2073 (「日本科学哲学会」宛であることを明記して下さい。)

e-mail: philsci@comp.metro-u.ac.jp

URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/pssj/>